



～一人一人が幸せを実感できるまちへ～
編集 / 「とらいあんぐる」編集員
問合せ先 / 本庁企画政策部 ひとみらい政策課
ひとみらい政策グループ(内線 4741)

私たちは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、ソーシャルディスタンス、県外への外出自粛など、これまで経験したことのない生活に、戸惑いや、いら立ちを感じることはありません。

しかし、一方では、この生活の中で、気付いたことや考えさせられたことなどがあつたことも事実です。

今回のとらいあんぐるでは、一人一人の人權を尊重する男女共同参画の視点を踏まえ、この期間に感じたみんなの率直な声に耳を傾けました。

例えば、市内小・中学校の一斉臨時休業の状況を受け、「休校中の子育て世帯を地域で支えていこう！お弁当支援」として、定期的にお弁当を届ける取り組みが生まれたり、さらに、それをきっかけにして「サロンへ来られない方におかずを届けよう！支援」へも発展しました。

また、不要不急の外出自粛中には、サロンのメンバーがマスクを手作りし、一人暮らしの高齢者へ無料配布したり、市内に約300カ所ある高齢者サロンの中には、簡単な体操のチラシや花の種を配ったり、サロンだよりを作成し、発信したり、手作りの塗り絵、脳トレ、ジグソーパズルなどを渡して、自宅で楽しく過ごせるようにするなど、それぞれが工夫した活動が実施されました。

私たち社会福祉協議会は、特別なことはできないかもしれませんが、地域で取り組んでいるさまざまな活動や、「つながりづくり」を把握しつつ、地域に幅広く情報発信していきながら、これからも地域を応援していきたいと思っています。

思いやりの距離とは？

「コロナ禍の中だから考えたこと」

とらいあんぐる 編集員のつづや木

新型コロナウイルスの罹患者や医療従事者に対する差別的な発言があるという報道があり心が痛んだ。

県外にいる子ども(たち)と今は会えないけれど、いつも思っています。

外出できないことがストレスだった。

あなたが大切だから今は我慢します。

思うように人に会えない時間があつたからこそ、人とつながっていることの安心感を得られていたのだと感じた。

困った時こそ力を合わせて助け合い！

あなたのために頑張っている人がいる。

家事も子育ても手伝うんじゃなく、一緒にやればいいんだ。

*地域活動などの取り組みについては、社会福祉協議会ホームページやフェイスブックでご確認いただけます。

▲市社会福祉協議会 HP

▲市社会福祉協議会 フェイスブック

思いやりの距離

日本を含めて、世界中では、新型コロナウイルス感染症による影響がまだ続いています。

そういった状況の中でも、自分以外の大切な相手を守るためには、まず「自分を感染から守る」という一人一人の行動が大切です。また、大切な人だからこそ、今は会わないという決断も時には必要でしょう。

それが「思いやりの距離」ではないでしょうか。

「思いやりの距離」とは、単に「相手との距離をとる」ということではなく、そこには「思いやり」という目に見えないものが存在しているのです。

おうち時間 ミーティングシート

ひとみらい政策課では、空いた時間でおうちのことをちよつとだけ考えてみるためのミーティングシートを発行しています。

これを機会に、少しだけおうちのことをみんなで話をしてみてはどうでしょうか。

*おうち時間ミーティングシートは、市ホームページからダウンロードできます。

詳しくは、こちらをチェック！

▲市 HP

皆さんから寄せられた声には、こういう状況の中で、不満や不便に対する意見も当然ありますが、人とのつながりや家族の在り方、人權について考えさせられたという意見も多数寄せられました。

そして「つながれないときだからこそ工夫してつながる」ことが大事だと気付かされました。

そこで、私たちは「つながり」をキーワードに地域での取り組みを支援している薩摩川内市社会福祉協議会にお話を伺いました。

つながるといって

薩摩川内市社会福祉協議会
地域福祉課 山内一宏さん

コロナ禍の中、各種イベントや、地域の集まりが軒並み中止になっていました。

でも、そんな中にあつても、地域の皆さんの頑張つて乗り切ろうという気持ちや思いやりが、形になった取り組みが展開されていると感じました。